

警 防 編

消防水利

(各年4月1日現在)

区分 年別	合計	消 火 栓				
		小 計	公 設		私 設	
			150mm以上	150mm未満	150mm以上	150mm未満
平成27年	1,210	825	373	452		
平成28年	1,218	832	375	457		
平成29年	1,235	838	377	461		
平成30年	1,251	852	387	465		
平成31年	1,258	857	391	466		

区分 年別	小 計	防 火 水 槽							
		区分 計	公 設			私 設			
			100m ³ 以上	40m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 未満	区分 計	100m ³ 以上	40m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 未満
平成27年	367	296	12	227	57	71	2	64	5
平成28年	368	296	12	228	56	72	2	65	5
平成29年	379	307	12	239	56	72	2	65	5
平成30年	381	308	12	240	56	73	2	66	5
平成31年	384	308	12	240	56	76	2	69	5

区分 年別	小計	そ の 他			
		河川・溝等	プール	濠・池等	その他
平成27年	18		16		2
平成28年	18		16		2
平成29年	18		16		2
平成30年	18		16		2
平成31年	17		15		2

相互応援協定等

(平成31年4月1日現在)

協定名	協定年月日	協定内容（協定機関）	備考
千葉県広域消防相互応援協定	昭和40年 7月19日	千葉県下の全市町村及び一部事務組合が、大規模災害及び産業災害等の予防、鎮圧に万全を期し、併せて民心の安定を図るため相互応援体制を確立し、不測の事態に対処する協定 (千葉県下全市町村19市65町10村)	
	改正昭和60年 4月 1日	団体名の変更及び一部事務組合の結成等による改正	
	改正平成 4年 4月 1日	団体名の変更及び一部事務組合の結成等並びにヘリコプターによる航空特別応援が新たに加わったことによる改正	
	改正平成15年 4月 1日	応援の種類として、火災調査等特別応援が新たに加わったことによる改正	
	改正平成18年 8月22日	消防組織法の一部を改正する法律が施行されたことによる改正	
東関東自動車道及び新空港自動車道消防相互応援協定	昭和54年10月 1日	協定区域内において災害が発生した場合に、消防隊、救急隊その他人員資機材を出動させるための協定 [千葉市、市川市、船橋市、成田市、佐倉市、習志野市、浦安町、四街道町、酒々井町、富里村]	消防組織法第39条に基づく相互応援協定
	改正昭和56年 4月 1日	四街道町及び浦安町の市制施行に伴う改正	
	改正昭和60年 4月 1日	富里村の町制施行、及び佐原市外5町(組)の加入に伴う改正	
	改正昭和61年 4月24日	大柴インターチェンジから佐原香取インターチェンジまでの供用開始、及びこれに係る佐原市外5町(組)の出場区域の見直しに伴う改正	
	改正昭和62年11月20日	佐原香取インターチェンジから潮来インターチェンジまでの供用開始、及び潮来町並びに鹿行地方広域市町村圏(組)の加入に伴う改正	
	改正平成 5年 4月27日	佐倉市が消防団の所管替えにより新規加入。更に、佐倉市外2町消防組合が、佐倉市八街市酒々井町消防組合に名称変更したことに伴う改正	
	改正平成18年 8月24日	佐原市、山田町、栗源町、小見川町が新設合併し香取市となり、佐原市外五町(組)が香取広域市町村圏(組)に名称変更したことに伴う改正	
成田国際空港消防相互応援協定 (旧：新東京国際空港消防相互応援協定)	改正平成17年 5月18日	成田空港及びその周辺における航空機に関する災害又はその発生のある事態に際し、相互に緊密な協力のもとに消火救難活動を実施し、被害の防止又は軽減を図るための協定 [成田市、佐原市外五町(組)、佐倉市八街市酒々井町(組)、山武郡市広域行政(組)、八日市場市外三町(組)、印西地区(組)、四街道市、富里市、栄町、成田国際空港(株)] 当市加入前の経過 昭和53年 3月18日 改正 平成 4年 4月 1日 改正 平成14年 4月 1日 改正 平成16年 4月 1日	
	改正平成18年7月12日	八日市場市と野栄町が新設合併し匝瑳市、横芝町と光町が新設合併し横芝光町となり、八日市場市外三町(組)が匝瑳市横芝光町(組)に名称変更 佐原市、山田町、栗源町、小見川町が新設合併し香取市となり、佐原市外五町(組)が香取広域市町村圏(組)に名称変更したことに伴う改正	

協定名	協定年月日	協定内容（協定機関）	備考
鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定	平成21年3月31日	鉄道災害が発生し、又は発生する恐れのある場合、千葉県内の消防本部（局）と鉄道軌道事業者との相互連携により、安全かつ迅速な消防活動と公共交通機関としての列車運行の早期復旧を図るための協定 [千葉県、県下31消防本部、鉄道軌道事業者15社]	
	改正平成23年4月1日	県の組織改編に伴う改正	
災害時等における消防用水の供給支援に関する協定	平成31年3月20日	3市域における大規模火災発生時において、民間事業者のコンクリートミキサー車を活用した消防用水の搬送体制を確保し、消防用水の補給及び消防資機材の確保について、3市が相互に協力し、迅速な消防体制を確立するための協定 [千葉市、市原市、四街道市、千葉中央生コンクリート共同組合（組合員11事業所17工場）]	

救急業務

平成31年4月1日現在の救急自動車保有台数は、高規格救急自動車4台であり、救急隊員24名のうち22名が救急救命士です。また、平成31年度から女性の救急隊員を1名配置しております。

消防職員119名のうち救急隊員として資格を有している職員は105名のうち27名が救急救命士です。

平成30年中の救急出動件数は、4020件で平成29年中と比較して112件(2.8%)の増加であり、事故種別でみると、急病2,361件(58.7%)、一般負傷644件(16%)、転院搬送353件(8.8%)の順です。また、搬送人員については、3,650人であり、前年に比較して17人(0.5%)の増加となっています。

救急隊員の状況

(平成31年4月1日現在)

階級 所属	合計	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士
消防署	10 (9)	2 (2)	1 (1)	2 (1)	5 (5)
千代田分署	8 (8)	2 (2)	4 (4)		2 (2)
旭分署	6 (5)		4 (4)		2 (1)
合計	24 (22)	4 (4)	9 (9)	2 (1)	9 (8)

()内は、救急救命士隊員数

救急資格(要件)別職員数

(平成31年4月1日現在)

階級 資格(要件)	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士
救急救命士	27	1	0	5	10	3	8
指導救命士認定	2			2			
気管挿管認定救命士	23	1		5	10	3	4
ビデオ喉頭鏡認定救命士	8			2	6		
薬剤投与認定救命士	22	1		5	9	2	5
処置範囲拡大2行為認定	22	1		5	9	2	5
救急隊員有資格者	78	0	5	20	21	24	8
救急科	36				9	19	8
救急標準課程	21		2	9	9	1	
救急I課程	1				1		
救急II課程	20		3	11	2	4	
合計	105	1	5	25	31	27	16

救急隊員が実施した救急処置状況

(平成30年中)

処置別 事故種別	対象人員	合計	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素吸入	心電図測定	保温	被覆	在宅療法	心音呼吸音の聴取	血中酸素飽和度測定	血圧測定	気道確保	経鼻エアウェイによる気道確保	喉頭鏡・監視による気道確保	※器具使用による気道確保	※気管挿管	除細動	※静脈路確保(輸液)	※薬剤投与	※心肺停止前静脈路確保	※心肺停止後静脈路確保	※ブドウ糖溶液投与	血糖測定	その他の応急処置
急病	2,334	8,557	16	15	21	50	434	1,784	11	11	26	359	2,294	2,216	77	5	2	8	3	6	42	7	20	7	11	35	1,115
交通事故	344	1,391	19	152		3	36	128	2	75		94	339	333	4			2			2		1				203
一般負傷	635	2,308	65	99	1	6	34	283	5	169		59	628	589	9	1	1	1	1		1						360
その他	533	1,977	11	39		14	148	335	2	24		54	520	489	15		1				3	1	2		2	2	318
合計	3,846	14,233	111	305	22	73	652	2,530	20	279	26	566	3,781	3,627	105	6	4	11	4	6	48	8	23	7	11	37	1,996

※ 医師の具体的指示を必要とする救急救命処置

年別救急出動件数

事故種別 年別	合 計	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他
平成26年	3,663	35	2		347	40	39	561	23	45	2,156	281			134
平成27年	3,734	26	1		325	37	43	562	27	37	2,222	310	2		142
平成28年	3,766	6	1		327	39	41	637	33	29	2,204	327			122
平成29年	3,908	14	4		344	34	37	586	26	32	2,329	343	1		158
平成30年	4,020	13			329	52	32	644	32	36	2,361	353			168

年別救急搬送人員

事故種別 年別	合 計	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他
平成26年	3,329	1			346	39	41	523	20	28	2,048	278			5
平成27年	3,369		1		320	34	44	519	23	23	2,086	309			10
平成28年	3,498		1		328	38	42	605	26	21	2,099	327			11
平成29年	3,633	4	4		364	31	37	560	27	25	2,227	343			11
平成30年	3,650	2			324	52	32	606	22	30	2,219	352			11

月別救急出動件数及び搬送人員

(平成30年中)

月別	事故種別 区分	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
1	出動件数	389	3			35	4		57		1	231	38			20
	搬送人員	346	1			32	4		51		1	217	37			3
2	出動件数	320	2			25	3	2	53	3	6	176	34			16
	搬送人員	290				24	3	2	48	2	6	169	34			2
3	出動件数	345	1			28	3	2	59	2	2	205	23			20
	搬送人員	311				33	3	2	56	2	1	189	23			2
4	出動件数	280				22	2	3	45	1	1	174	22			10
	搬送人員	260				23	2	3	44			166	22			
5	出動件数	300	1			13	5	2	54	2	4	176	30			13
	搬送人員	271				14	5	2	51	2	4	163	30			
6	出動件数	279				25	11	2	35	3	5	167	18			13
	搬送人員	251				26	11	2	30	2	5	155	18			2
7	出動件数	430	1			36	7	6	50	7	7	266	32			18
	搬送人員	385				33	7	6	47	5	6	248	32			1
8	出動件数	357	1			40	8	3	49	1	1	210	36			8
	搬送人員	330				38	8	3	48			197	36			
9	出動件数	342	1			26		4	68	4	3	197	26			13
	搬送人員	306	1			24		4	64	2	2	183	26			
10	出動件数	323	1			30	3	5	52	2	3	188	27			12
	搬送人員	292				30	3	5	48	1	2	175	27			1
11	出動件数	282				27	3	2	47	2		170	24			7
	搬送人員	267				24	3	2	46	2		166	24			
12	出動件数	373	2			22	3	1	75	5	3	201	43			18
	搬送人員	341				23	3	1	73	4	3	191	43			
合計	出動件数	4,020	13	0	0	329	52	32	644	32	36	2,361	353	0	0	168
	搬送人員	3,650	2	0	0	324	52	32	606	22	30	2,219	352	0	0	11

年齢別・性別救急搬送人員

(平成30年中)

年齢	性別	男女の合計	計	月別											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0～4	男	200	121	9	11	9	6	12	12	21	6	13	8	9	5
	女		79	9	6	6	4	8	5	12	1	7	10	5	6
5～9	男	83	54	7	6	2	3	2	7	6	5	3	6	4	3
	女		29		3	4	4		1	6	4	3	1		3
10～19	男	169	104	2	5	8	5	10	9	19	12	8	12	7	7
	女		65	2	3	2	9	6	6	11	6	4	6	5	5
20～29	男	182	83	11	5	10	7	5	7	14	7	6	4	3	4
	女		99	6	6	6	7	10	7	15	8	9	8	12	5
30～39	男	221	101	6	11	6	11	9	4	14	9	10	8	5	8
	女		120	15	8	6	11	10	10	15	10	10	3	12	10
40～49	男	279	165	21	8	18	6	17	11	14	16	12	16	13	13
	女		114	6	10	6	12	10	6	13	13	11	10	12	5
50～59	男	297	164	20	12	10	11	9	13	21	20	12	6	9	21
	女		133	7	10	14	8	15	11	13	11	13	9	9	13
60～69	男	422	249	25	25	23	13	21	20	22	27	18	20	14	21
	女		173	17	12	16	12	15	12	12	19	15	12	8	23
70～79	男	824	443	40	41	42	36	25	33	30	35	35	41	36	49
	女		381	35	23	31	29	34	28	39	34	37	24	23	44
80歳以上	男	973	421	43	42	37	30	29	29	35	34	32	39	35	36
	女		552	65	43	55	36	24	20	53	53	48	49	46	60
月別合計	男	3,650	1,905	184	166	165	128	139	145	196	171	149	160	135	167
	女		1,745	162	124	146	132	132	106	189	159	157	132	132	174
合計		3,650	346	290	311	260	271	251	385	330	306	292	267	341	

事故種別・傷病程度別救急搬送人員

(平成30年中)

年齢区分	事故種別	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
	区分												
新生児 0日～28日未満	死亡	0											
	重症	0											
	中等症	9										1	8
	軽症	0											
	その他	0											
	小計	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
乳幼児 28日以上7歳未満	死亡	0											
	重症	6							1			2	3
	中等症	56				1			14	1		29	11
	軽症	166				7			74			84	1
	その他	0											
	小計	228	0	0	0	8	0	0	89	1	0	115	15
少年 7歳以上18歳未満	死亡	0											
	重症	7				3						1	3
	中等症	61				6	1	8	6	1	1	23	15
	軽症	120				38		14	19	3		46	
	その他	0											
	小計	188	0	0	0	47	1	22	25	4	1	70	18
成人 18歳以上65歳未満	死亡	2									1		1
	重症	90				15	4		4		4	44	19
	中等症	523	1			44	18	5	42	3	11	326	73
	軽症	543				117	18	5	53	14	5	325	6
	その他	0											
	小計	1,158	1	0	0	176	40	10	99	17	21	695	99
高齢者 65歳以上	死亡	26				1			2		2	19	2
	重症	268	1			4	5		31		2	168	57
	中等症	1,087				18	3		157		3	750	156
	軽症	685				70	3		203		1	401	7
	その他	1											1
	小計	2,067	1	0	0	93	11	0	393	0	8	1,338	223
合計	死亡	28	0	0	0	1	0	0	2	0	3	19	3
	重症	371	1	0	0	22	9	0	36	0	6	215	82
	中等症	1,736	1	0	0	69	22	13	219	5	15	1,129	263
	軽症	1,514	0	0	0	232	21	19	349	17	6	856	14
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	3,650	2	0	0	324	52	32	606	22	30	2,219	363

曜日別救急出動件数

(平成30年中)

事故種別 曜日別	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
月	587	4			54	11	6	85	3	2	359	41			22
火	553				56	9		77	5	5	324	51			26
水	563	2			41	7	1	84	1	8	322	65			32
木	577	5			37	4	7	76	2	5	364	54			23
金	547				47	7	3	97	5	6	300	65			17
土	591	1			57	10	5	108	6	9	326	46			23
日	602	1			37	4	10	117	10	1	366	31			25
合計	4,020	13	0	0	329	52	32	644	32	36	2,361	353	0	0	168

時間別救急出動件数

(平成30年中)

事故種別 時間別	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
0~2	178				12	1		14	2		128	11			10
2~4	150				4	1		17	5	1	107	6			9
4~6	163	1			12	1		17	3	2	118	2			7
6~8	280	1			30		1	32		3	192	3			18
8~10	482	1			41	6	1	82	3	3	283	48			14
10~12	468	2			37	14	9	78	2	7	239	61			19
12~14	462	1			31	7	6	75	2	5	245	72			18
14~16	430	2			35	12	8	86		6	210	54			17
16~18	420	3			59	6	5	67	2	3	207	47			21
18~20	388	1			35	1	2	71	3	3	226	26			20
20~22	354	1			21	1		74	5	2	226	15			9
22~24	245				12	2		31	5	1	180	8			6
合計	4,020	13	0	0	329	52	32	644	32	36	2,361	353	0	0	168

各地区別救急出動件数

(平成30年中)

事故種別 地区別	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
消防署	下志津新田	108			10			16	1	1	75				5
	さつきヶ丘	11									11				
	四街道	377			30	4	8	63	6	9	227	7			23
	鹿渡	349			23	5	3	51	2	3	171	79			12
	中央	64	1		3	2		17		1	35				5
	さちが丘	23			2			4			16				1
	みのり町	23			1			6			16				
	和良比	261	1		14	1		52	2	4	165	14			8
	美しが丘	95			9	1		22		1	56	1			5
	めいわ	153			7	1	2	18	2	2	113				8
	栗山	253	2		14	1	2	32	3	2	153	38			6
	つくし座	63			2			11			40	3			7
	鹿放ヶ丘	104	2		29	3		13	3		51				3
大日	842	1		89	17	5	132	9	5	501	53			30	
萱橋	0														
千代田分署	長岡	6			1		1			1	3				
	物井	79			7		1	13			54			4	
	もねの里	96			11	2		29	1	2	48	3			
	亀崎	28			1	1		8			17			1	
	千代田	227	2		10	2		38		2	163	3		7	
	内黒田	39			3	1	2	8			23			2	
	池花	38			3			8		1	24			2	
旭分署	小名木	46	2		11	2		5		1	24			1	
	吉岡	197	1		6	2		4	2		30	151		1	
	南上和	60	1		13	2	8	10			19			7	
	成台中	55			2			5			47			1	
	山梨	41			3			11			23	1		3	
	旭ヶ丘	119			3	1		28		1	79			7	
	みそら	133			1	2		24			94			12	
鷹の台	89			8	2		15	1		62			1		
東関東自動車道	12				10						1			1	
管轄外	29				3			1			20			5	
合計	4,020	13	0	0	329	52	32	644	32	36	2,361	353	0	0	168

署所別救急出動件数及び搬送人員

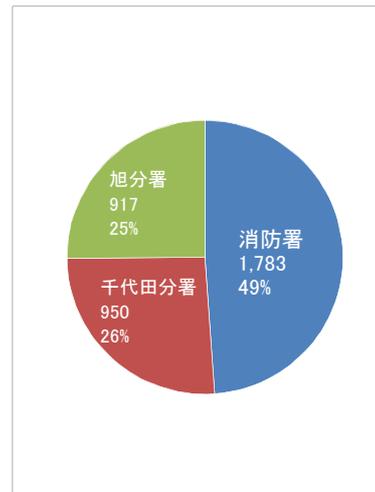
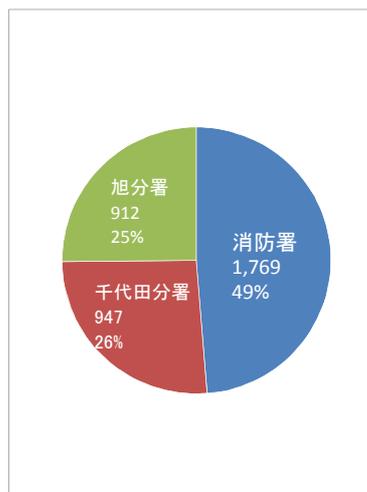
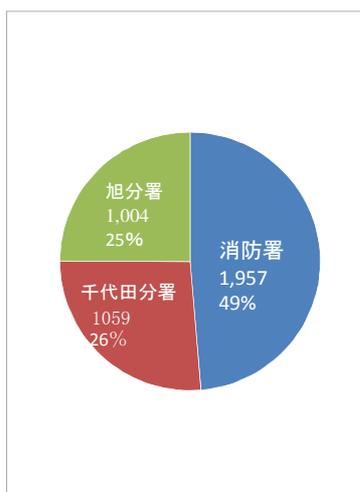
(平成30年中)

署所別	事故種別 区分	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
消防署	出動件数	1,957	3			155	23	17	317	24	26	1,180	131			81
	搬送件数	1,769				145	23	17	298	18	25	1,106	131			6
	不搬送	188	3			10			19	6	1	74				75
	搬送人員	1,783				156	23	17	299	18	25	1,108	131			6
千代田分署	出動件数	1,059	5			88	13	10	180	3	8	629	85			38
	搬送件数	947	2			81	13	10	169	1	4	581	85			1
	不搬送	112	3			7			11	2	4	48				37
	搬送人員	950	2			83	13	10	169	1	4	582	85			1
旭分署	出動件数	1,004	5			86	16	5	147	5	2	552	137			49
	搬送件数	912				82	16	5	138	3	1	527	136			4
	不搬送	92	5			4			9	2	1	25	1			45
	搬送人員	917				85	16	5	138	3	1	529	136			4
合計	出動件数	4,020	13	0	0	329	52	32	644	32	36	2,361	353	0	0	168
	搬送件数	3,628	2	0	0	308	52	32	605	22	30	2,214	352	0	0	11
	不搬送	392	11	0	0	21	0	0	39	10	6	147	1	0	0	157
	搬送人員	3,650	2	0	0	324	52	32	606	22	30	2,219	352	0	0	11

出動件数 4,020 件

搬送件数 3,628 件

搬送人員 3,650 人



ドクターヘリ

ドクターヘリとは、救急用の医療機器等を装備したヘリコプターに救急医療の専門医及び看護師等が同乗し、消防機関等の要請により救急現場に向い、救急現場等から医療機関に搬送する間、患者に救命医療を行うことのできるヘリコプターです。

ドクターヘリ出動状況

事故種別 年別	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
平成26年	44	1			6	4	2	5			26	
平成27年	40				8	2		6			24	
平成28年	51				16	6		4			25	
平成29年	55				7	9		9			30	
平成30年	42				6	7		7		2	19	1

ドクターヘリ離着陸場

学校(13ヶ所)

(平成31年4月1日現在)

指定場所	所在地	指定年月日	指定場所	所在地	指定年月日
八木原小学校	四街道市千代田5-4	H14.1.7	旭中学校	四街道市南波佐間267	H14.1.7
千代田中学校	四街道市千代田5-27	"	四和小学校	四街道市和良比228	"
南小学校	四街道市物井1536	"	四街道西中学校	四街道市大日23	"
大日小学校	四街道市大日978	"	四街道小学校	四街道市四街道1557	"
四街道北中学校	四街道市栗山1055	"	和良比小学校	四街道市美しが丘3-12	"
中央小学校	四街道市鹿渡917	"	吉岡小学校	四街道市鷹の台3-2	"
山梨小学校	四街道市旭ヶ丘1-9-12	"			

公園・その他(4ヶ所)

指定場所	所在地	指定年月日	指定場所	所在地	指定年月日
中央公園野球場	四街道市鹿渡無番地	H14.1.7	総合公園多目的運動場	四街道市和田161	H14.1.7
鷹の台公園芝生広場	四街道市鷹の台2-36	"	鹿放ヶ丘グラウンド	四街道市鹿放ヶ丘284-1	H15.7.18

ラピッドカー

緊急自動車として登録されたドクターカーに救急医が同乗し、北総ドクターヘリが出動できない時間帯（日没～夜間）に出動します。

特に、医師の救急現場への派遣が必要な重症傷病者や多数傷病者発生時及び広域災害等において、日本医科大学千葉北総病院救命救急センターへホットラインを介して要請し、救急医が救急現場等において、迅速に救命医療を開始し、救急車に同乗して診療を継続しながら重症傷病者を医療機関へ搬送するための車両です。

平成22年6月7日より、日本医科大学千葉北総病院救命救急センターを基地局として運行が開始されました。



ラピッドカー出動状況

事故種別	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
年別												
平成26年	20				9			2			9	
平成27年	18				9	1		1			7	
平成28年	25				12			2			11	
平成29年	20				4	1		5		1	8	1
平成30年	16				8			1			7	

応急手当の普及啓発活動

傷病者の命を救い、社会復帰に導くためには、「心停止の予防」、現場に居合わせた人による「早期認識と通報」、心肺蘇生や除細動などの「一次救命処置」、更には救急救命士や病院での処置「二次救命処置」の4つが連続して行われること、即ち「救命の連鎖」が必要とされています。

このため、当消防本部では、市民が応急手当に関する正しい知識と技術を習得するため救命講習を実施しています。

救命講習の種別

救命講習の種別	主 な 普 及 項 目	講習時間
救命入門コース	胸骨圧迫及びAEDの取り扱い	90分コース 45分コース
普通救命講習 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)	成人に対する心肺蘇生法(Ⅰ・Ⅱ) 小児、乳児、新生児に対する心肺蘇生法(Ⅲ) 大出血時の止血法	Ⅰ：3時間 Ⅱ：4時間 Ⅲ：3時間
上級救命講習	心肺蘇生法(小児、乳児、新生児を含む)、大出血時の止血法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法	8時間

救命講習実施状況

講習の種別 年別	合 計		上級救命講習		普通救命講習 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)		救命入門コース	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
平成26年	81	1,616	2	60	70	1,233	9	323
平成27年	77	1,478	4	112	58	884	15	482
平成28年	80	1,468	3	60	68	1,123	9	285
平成29年	55	1,403	3	56	44	848	8	499
平成30年	70	1,409	4	87	55	954	11	368
合 計	363	7,374	16	375	295	5,042	52	1,957

救助業務

救助業務とは、火災をはじめ交通、水難、自然災害等の事故により生命又は身体に危険が及んでおり、かつ、自らその危険を排除することができない要救助者を救助する重要な消防業務です。

救助出動件数

事故種別 年別	合計	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械事故	建物等 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他
		建物	建物以外								
平成26年	36			9				20			7
平成27年	41			11			2	20			8
平成28年	44			10		1		30			3
平成29年	60	1		13	1			37	1		7
平成30年	42	1		11				21			9

要救助者の状況

(平成30年中)

署所別	年齢		合計		20歳未満		20歳以上 30歳未満		30歳以上 40歳未満		40歳以上 50歳未満		50歳以上 60歳未満		60歳以上	
	性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
消防署	11	3	4	1			1		1						5	2
千代田分署	2	3			1						1		1		1	1
旭分署	2	2									1			2	1	
合計	23		5		1		1		3		3		10			

救助隊員の状況

(平成31年4月1日現在)

階級別	年齢別						
	合計	20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上
消防司令補	4					2	2
消防士長	8			4	3	1	
消防士	6		4	2			
合計	18	0	4	6	3	3	2

救助隊員の訓練実施状況

(平成30年中)

訓練内容	実施延回数	実施延人員	一回当たり参加人員	実施延時間
体力錬成訓練	48	585	12.19	24時間30分
ロープ基本応用訓練	101	876	8.67	327時間20分
検索・救助訓練	2	7	3.50	3時間00分
救助器具取扱訓練	7	24	3.43	21時間45分
救助事象想定訓練	74	323	4.36	204時間05分
その他の訓練	14	63	4.50	33時間45分
合計	246	1,878	7.63	614時間25分

救助資機材保有状況

(平成31年4月1日現在)

分類	品名	数量
一般用救助器具	かぎ付きはしご	4
	三連はしご	4
	ワイヤーはしご	1
	空気式救助マット	1
	救命索発射銃	2
	サーバイバースリング	1
	救助用縛帯	12
	平担架	1
重量物排除器具	可搬ウインチ	3
	マンホール救助器具	1
	マット型空気ジャッキ	5
	大型油圧スプレッダー	3
	プランジャーラム	1
	ハンドポンプ	1
	エンジンポンプ	1
	油圧ホース	2
切断用器具	油圧切断器	1
	エンジンカッター	3
	酸素溶断器	1
	チェーンソー	5
	鉄線カッター	8
	空気鋸	2
	大型油圧切断機	1
	空気切断機	2
破壊用器具	空気工具	1
	万能斧	9
	ハンマー	5
	携帯用コンクリート破壊器具	1
	削岩機	1
	ハンマードリル	1
測定用器具	可燃性ガス測定器	3
	有毒ガス測定器	3
	酸素濃度測定器	3
	放射線測定器	3
	検電器	2
高度救助用器具	熱画像直視装置	2
	夜間用暗視装置	1
検索用器具	簡易画像探索器	1
呼吸保護用器具	空気呼吸器	22
	酸素呼吸器	4
	防塵マスク	28
	送排風機	1
	エアラインマスク	2
隊員保護用器具	帯電手袋	7
	帯電衣	3
	帯電ズボン	3
	帯電長靴	3

分類	品名	数量
隊員保護用器具	防塵メガネ	19
	携帯警報機	17
	防毒マスク	7
	活線警報機	10
	放射線防護服	2
	タイベック	19
	陽圧式化学防護服	4
	耐熱服	6
	化学防護長靴	20
	化学手袋	27
除染用器具	除染シャワー	1
	除染剤散布機	1
	除染テント	1
	密閉容器	3
水難救助用器具	水中ポンプ	1
	救命胴衣	18
	救命浮環	2
	救命ボート	1
	水中探索棒	1
	スバリ	2
山岳救助用器具	レスキューチューブ	1
	バスケット型担架	4
	ショート&ロングスケルト	各2
その他の救助用器具	ハーネストボード	1
	投光器	6
	携帯投光器	14
	携帯拡声器	7
	携帯無線機	6
	応急処置用セット	3
	車両移動器具	1
	緩降機	2
	ロープ登降機	1
	発電機	5
	加圧排煙機	2
	携帯用救助工具	2
	手工具	各種
	救助鋏	1
	エアバック保護カバー	3
救助活動用安定具	1	

ロープレスキュー資器材保有状況

(平成31年4月1日現在)

名 称	規 格	数量
【ロープ & アクセサリーズ】		
スタティックロープ (100m)	「CMC」 ジェネラルユースKMIII (φ12.5mm)	5
スタティックロープ (50m)	「CMC」 ジェネラルユースKMIII (φ12.5mm)	6
スタティックロープ (25m)	「CMC」 ジェネラルユースKMIII (φ12.5mm)	2
プルージックコード (ループ170cm) (ループ145cm)	「CMC」 緑 (φ8mm)	32
	「CMC」 赤 (φ8mm)	31
ロープバック 青	「CMC」 レスキューロープバック#4	5
タックルバック 赤 黄	「PETZL」 トランスポート C02	3
	「PETZL」 ポルタージュ S32	2
ローププロテクター (アルミ)	「PETZL」 セットキャタピラー・エッジプロテクター	1
ローププロテクター (樹脂)	「CMC」 ウルトラプロ4エッジプロテクター	1
	「CMC」 ウルトラプロ2エッジプロテクター	1
ローププロテクター (布)	「CMC」 エッジパッド・エッジガード	3
トラックコーチ	「CMC」 レスキュートラックコーチ	4
ウェビングテープ (3.6m・4.5m・6.0m)	「CMC」 1インチチューブラーウェビング	12
ロードリリーストラップ	「CMC」 プロシリーズロードリリーストラップ	4
オープンスリング (24・36・60インチ)	「CMC」 レスキューユーティリティーループ	9
アンカーストラップ	「CMC」 プロシリーズアンカーストラップ	8
ワークポジショニングシットハーネス	「PETZL」 ナバホバリオ	5
フォールアレストハーネス	「PETZL」 ナバホコンブレ	2
フォールアレストハーネス	「PETZL」 アバオボット	2
ショルターストラップ付レスキュートライアングル	「PETZL」 ピタゴール	2
シットハーネス	「CMC」 プロシリーズレスキューハーネス	3
【ハードウェア】		
シングルプーリー	「CMC」 プロシリーズプーリー	12
ダブルプーリー	「CMC」 プロシリーズプーリー	4
シングルプーリー	「PETZL」 クートネー	4
スィベルプーリー	「CMC」 レスキュー S/S スィベルプーリー	1
スィベルダブルプーリー	「CMC」 ロックエッジチカ スィベルダブルプーリー	2
エイト環	「CMC」 レスキュー 8	6
ブレーキバーラック	「CMC」 レスキューラック	3
スィベル	「CMC」 プロシリーズスィベル	2
アンカープレート	「CMC」 アンカープレート	4
リギングプレート	「PETZL」 ポー	1
O リング	「PETZL」 アルミニウム O リング	2
クイックリンク (デルタ)	「CMC」 マイロンラピッドクイックリンク	4
カラビナ (アルミD型) シルバー (アルミD型) レッド (スチールD型) シルバー (スチールD型) ゴールド	「CMC」 レスキューアルミ ロッキングDカラビナ	39
	「CMC」 レスキューアルミ ロッキングDカラビナ	3
	「PETZL」 スチール	4
	「CMC」 レスキュースチール ロッキングDカラビナ	5

消防車両配置状況

(平成31年4月1日現在)

区分 所属	車両種別 (無線呼出名称)	車名	排気量 (CC)	燃料の 種類	級別等	乗車 定員	登録年月日
消防本部	司令車 (四街道本部司令-1)	トヨタ	2,360	ガソリン	—	7	H24. 2.20
	広報車 (四街道本部広報-1)	日産	1,990	ガソリン	—	7	H19.10.19
	広報車 (四街道本部広報-2)	トヨタ	1,320	ガソリン	—	5	H26. 1.15
	査察車 (四街道本部予防-1)	トヨタ	2,690	ガソリン	—	7	H19. 2.28
消防署	指揮統制車 (四街道指揮統-1・2・3)	日産	4,470	ガソリン	—	8	H18.12.22
	化学消防ポンプ自動車 (四街道化学-1)	日野	7,960	軽油	Ⅱ型/A2	5	H16. 3.26
	水槽付消防ポンプ自動車 (四街道水槽-1)	日野	6,400	軽油	I-B/A2	6	H27. 3.25
	救助工作車 (四街道救助-1)	日野	7,960	軽油	Ⅱ型	6	H13. 3.12
	はしご付消防自動車 (四街道梯子-1)	日産	21,200	軽油	30m級	6	H16.12.15
	高規格救急自動車 (四街道救急-1)	トヨタ	2,690	ガソリン	高規格	7	H25. 1.25
	資機材搬送車 (四街道資機材-1)	マツダ	1,990	ガソリン	—	3	H15.10.29
千代田分署	水槽付消防ポンプ自動車 (四街道千代田水槽-1)	日野	6,400	軽油	I-B/A2	6	H24. 3.30
	小型動力ポンプ付水槽車 (四街道千代田給水-1)	いすゞ	8,220	軽油	I型/B2	3	H15. 3.26
	高規格救急自動車 (四街道千代田救急-1)	トヨタ	2,690	ガソリン	高規格	7	H28. 3.18
	広報車 (四街道千代田広報-1)	トヨタ	1,990	ガソリン	—	9	H26. 1.23
	高規格救急自動車(非常用) (四街道千代田救急-2)	トヨタ	2,690	ガソリン	高規格	7	H21.12.21
	水槽付消防ポンプ自動車(非常用) (四街道千代田水槽-2)	日野	7,960	軽油	I-B/A2	6	H12. 2.16
旭分署	水槽付消防ポンプ自動車 (四街道旭水槽-1)	日野	6,400	軽油	I-B/A2	5	H18. 3.28
	消防ポンプ自動車 (四街道旭ポンプ-1)	いすゞ	4,770	軽油	CD- I /A2	5	H18.11. 6
	屈折はしご付消防ポンプ自動車 (四街道旭梯子-1)	日野	7,680	軽油	20m級	5	H21. 2.27
	後方支援車 (四街道本部支援-1・2)	いすゞ	7,790	軽油	I型仕様	9	H18. 3.17
	高規格救急自動車 (四街道旭救急-1)	トヨタ	2,690	ガソリン	高規格	7	H23. 2.8
	広報車 (四街道旭広報-1)	ダイハツ	650	ガソリン	—	4	H28.10.19

※消防団車両を除く。

空気（酸素）呼吸器及び空気（酸素）ボンベ保有状況

○空気呼吸器

規 格	M30プレッシャーデマンド型		
能 力	陽圧切替	自動	
	最高使用圧力	30M p a	
	警報器	ホイッスル式残量3.0M p a	
	重量	4.1 k g	

○酸素呼吸器

規 格	ドレーゲルP S S B G4 plus		
能 力	使用時間	公称4時間	
	酸素供給方式	定量／デマンド併用型、手動バイパス弁付	
	重量	約15kg	

(平成31年4月1日現在)

品目 \ 配置先	合 計	消 防 署	千代田分署	旭 分 署
空気呼吸器	60	22	24	14
空気ボンベ	200	114	48	38
酸素呼吸器	4	4		
酸素ボンベ	8	8		

消防ホース保有状況

消防ホースの整備に当たっては、災害現場での混乱を避けるため、各署所の消防ホースを色分けし、消防署は「白色」、千代田分署は「緑色」、旭分署は「赤色」に統一しています。

(平成31年4月1日現在)

呼称 (mm) \ 配置先	合 計	消 防 署	千代田分署	旭 分 署
65	260	100	80	80
40	142	48	50	44
合 計	402	148	130	124

その他出動件数

分類別		合計	危険物	危険排除	緊急確認	風水害	救急支援	P A 連携	警戒	他都市応援 ^(注)	その他
年別/件数・人員											
平成26年	件数	513		20	62	9	85	315		20	2
	人員	1,681		63	197	28	279	1,046		60	8
平成27年	件数	488		30	53	20	78	286		21	
	人員	1,662		93	179	72	252	1,003		63	
平成28年	件数	559		34	54	36	96	304		34	1
	人員	1,910		123	187	119	314	1,062		102	3
平成29年	件数	534	1	21	53	6	104	314		33	2
	人員	1,831	17	67	178	29	363	1,070		99	8
平成30年	件数	507		46	54	11	86	281	2	27	
	人員	1,720		162	183	42	296	950	6	81	

※平成25年4月から、ちば消防共同指令センターが運用開始となり、分類の細分化が図られたもの。

(注)「他都市応援」の件数は、「救急件数」等の件数に含まれており、重複計上となっている。

各種業務出動状況

分類別		合計	演習訓練	広報指導	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報
年別/回数・人員										
平成26年	回数	1,083	391	223	274	22	27		117	29
	人員	5,166	2,049	1,152	1,116	92	86		321	350
平成27年	回数	1,047	455	214	197	17	27		108	29
	人員	5,345	2,412	1,171	667	68	101		540	386
平成28年	回数	1,069	487	245	180	8	29		95	25
	人員	5,038	2,396	1,114	650	36	102		399	341
平成29年	回数	1,077	441	229	204	12	73		101	17
	人員	5,192	2,439	1,003	771	39	270		449	221
平成30年	回数	1,431	602	271	216	18	121		179	24
	人員	5,850	2,695	1,088	750	72	410		515	320
合計	回数	5,707	2,376	1,182	1,071	77	277	0	600	124
	人員	26,591	11,991	5,528	3,954	307	969	0	2,224	1,618

※火災出動・救急出動・救助出動・その他出動を除く。